

高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）

企画展「モズのはやにえ」

プレス資料



企画展
モズのはやにえ

平成27年10月10日（土）
～ 12月13日（日）
あくあぴあ芥川 1階企画展スペース

秋の田んぼのまわりをさがすと
枝に虫が刺さっているのが見つかるかも。
それがモズのはやにえです。

高槻市立自然博物館
あくあぴあ芥川

〒569-1042 高槻市南平台5丁目59番1号
TEL=072-692-5041 FAX=072-692-7864 E-mail=info@aquapia.net
あくあぴあブログ <http://www.omnh.net/aquapia/>

主催：高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）
共催：伊丹市昆虫館

● 開館時間 10:00～17:00
● 休 日 日月曜日（年末年始は除く）
年末年始（12/28～1/4）

入場無料

● 市営バス：JR高槻駅北口乗降場
「関西大学」「平安女学院大学東」より「南平台小学校前」下車まで
● 芥川緑地駐車場：利用料金 普通自動車1時間100円
（※ 3時間を越えたときは400円上限）
利用時間 8:00～18:30（6月～9月は19:30まで）

企画展「モズのはやにえ」平成27年10月10日（土）～12月13日（日）

【ごあいさつ】

秋が深まると川や田んぼの近くから、キーンキーンという声を聞いたことはありませんか。それはきっとモズの高鳴きでしょう。モズはかわいらしい容姿に反して、実は狩りが得意な肉食の鳥で、捕らえた獲物を木の枝などに刺す習性を持っています。これを「モズのはやにえ」といいます。

今回の企画展「モズのはやにえ」は、モズの生活や「はやにえ」について標本や写真・パネルで分かりやすく解説しています。はやにえの標本を見ているとモズがいかにさまざまな動物をエサにしているかがわかります。はやにえの種類の高さは、モズの生息環境の豊かさを現わしているのかもしれませんが。

モズは意外と身近な鳥なのです。あくあぴあの調査でも秋から冬にかけての季節に芥川で多くのモズを確認しています。モズを見つけるのは今の時期がチャンス！！ 展示を見たら、モズのはやにえ探しに出かけてみましょう。そこでは新しい発見や、自然の不思議が実感できるかもしれません。

【基本情報】

■モズってどんな鳥？

→モズはスズメ目モズ科に属するスズメよりひとまわり大きな鳥です。茶色い頭、タカのようにカギ状に曲がったくちばし、くちばしから目にかかる黒いライン、長い尾羽が特徴です。1年中日本にいますが、秋から春にかけては平地、夏から秋にかけては山地や高原に移動して暮らす漂鳥とされています。多種類の鳥の声をまねて鳴くため漢字で百の舌を持つ鳥「百舌鳥」または「百舌」と書きます。あくあぴあ付近の芥川の調査では、9月～春先にかけて多くみられます。



モズのオス

■「はやにえ」ともは何？

→モズは捕らえた獲物を木の枝などに刺す習性を持っています。これを「モズのはやにえ」といいます。



■はやにえは何のため？

→まだはっきりとした理由は分かっていませんが、多くの人の観察や研究から、次のような理由が考えられています。

- ① 餌が不足する冬に備え貯蔵食とするため・・・11月から1月にかけてたくさんのはやにえが見つかること、はやにえの多くが1、2ヶ月のうちになくなっていることから。
- ② 獲物を尖った場所に刺し、固定して食べるため・・・鋭いくちばしのわりに、足の力が弱いため、獲物を足でおさえつける代わりに枝に刺して固定し、その後、獲物を少しずつ引きちぎって食べることから。
- ③ 獲物を捕って見たが満腹であったか、好物ではなかったため枝に刺したため・・・食べているもの（ペリット分析による）とはやにえにされる生きものの種類に違いがあることから。
- ④ なわばりを示すため
- ⑤ 狩りを楽しみ遊んでいるため

■日本にモズは何種類いるの？

→8種類です。

モズ、タカサゴモズ、チゴモズ、オオモズ、オオカラモズ、セアカモズ、モウコアカモズ、アカモズ

【みどころ】

・ はやにえあんなもの、こんなもの

はやにえ写真 118 枚と、実物のはやにえを 12 個の標本ケースに入れて紹介します。
特にはやにえの実物をよく見ると、いろいろな生き物が枝に刺さっていることがわかります。
野外に出たときに、はやにえを見つける目が養えるかもしれません。



・ モズの剥製標本

あくあぴあ芥川所蔵のモズの剥製標本、オスとメスを展示します。
モズを近くでゆっくり見ることができます。



・大西敏一さんモズコレクション写真

バードコンサルタントである大西敏一さん撮影の写真 12 枚を並べました。日本にいる 8 種類すべてのモズを見ていただくことができます。



・人間もはやにえ？

人間もはやにえする？と聞くとびっくりしますね。

誰の物かわからない落とし物がフェンスや支柱にひっかかれている風景。これを「善意のはやにえ」と呼び、観察と記録を続ける吉永健一さんのブログより、本家モズ顔負けのはやにえを紹介します。



・モズなりきりコーナー

小さなお子さんもモズに親しめるコーナーを作りました。モズのマントやモズのパペットを使って、はやにえをして遊べるコーナーです。モズマントやモズパペットは、今回の企画展のために特別に作ったもので、あくあぴあオリジナルです。



なりきりコーナーへは靴をぬいでどうぞ。



モズマント



モズパペット

・はやにえ顔はめ

あくあぴあの企画展では毎回好評の顔はめ。この機会に「はやにえ」になってみませんか？



【展示協力】

伊丹市昆虫館、高槻野鳥の会、大西敏一氏、岸岡智也氏、堺勝重氏、高木昌興氏、野本康太氏、村濱史郎氏、横田靖氏、吉永健一氏、

【イベント情報】

講座「モズの生活とはやにえの謎」

日時：12月12日（土）13時30分～15時30分

場所：あくあぴあ芥川3階多目的ホール

講師：大阪市立大学大学院理学研究科動物機能生態学研究室 西田有佑氏

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

定員 30 人

申込み：電話で受付（12月3日午前9時から受付開始）

参加費：無料

高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川 基本情報

○名称 高槻市立自然博物館 あくあぴあ芥川（平成27年4月1日より名称変更しました）

○開館時間 10:00～17:00

○入館料 無料

○休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日に休館）

○駐車場 芥川緑地駐車場 8:00～18:30（6月～9月は19:30まで
1時間100円（1日最大400円）

○交通 電車 JR 高槻駅 北5番のりば「関西大学」「平安女学院東」行き 乗車約15分「南平台小学校前」下車
すぐ

○所在地 〒569-1042 大阪府高槻市南平台 5-59-1

○電話 072-692-5041

○FAX 072-692-7864

○ホームページ http://www.city.takatsuki.osaka.jp/rekishi_kanko/kanko/aquapia.html

○ブログ <http://www.omnh.net/aquapia>

○E-mail info@aquapia.net

○指定管理者 あくあぴあ芥川共同活動体（NPO 法人芥川倶楽部、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター）

本件に関する問い合わせ：あくあぴあ芥川

高田みちよ

TEL：072-692-5041 FAX：072-692-7864